

参加した田中君（人権連）の感想

ニューヨークでの活動は基本的に署名とパレードだったが、反応がすごくいい。毎日100筆以上の単位で集まり、3時間で180筆以上の日もありました。チラシもよく取ってくれた。署名をしてくれている男性に、通りかかった年配の女性が「私は核兵器を必要と思う。署名をやめなさい」と声をかけると、その男性は署名を途中でやめて、その女性に「なぜ、核兵器が必要と思うのか。私は廃絶すべきだ」ときっぱり反論してから、さらに署名を続けてくれたと言うのです。日本では考えられない風景です。普天間基地の事でも、核兵器でも「日本の皆さんに申し訳ない。運動を頑張ってほしい」と励まされる場面や、85歳、90歳の人たちが核兵器廃絶問題で学習会をしている風景にも遭遇して、アメリカ人を見直した。一方で、報道規制などもあり、先頭の横断幕の写真を撮影させないように警官が制止する場面や爆発物らしきものが発見されたとして、テレビがその報道一色になったことなど、権力者の思いと市民の感覚の健全さに直面して、ダイナミックなアメリカ人の感性に直に触れることができた感想を語りました。